



井上 加奈子

① 子どもの熱中症対策 ② 放課後児童クラブの 安全対策と運営方針

ささゆり学園の体育館の
エアコン設置について

問 大阪府下の公立小・

中学校では体育館のエアコンは27%が設置済みだが、ささゆり学園の体育館のエアコン設置予定について問う。

答 中山間地域においては設置の状況が比較的低く、体育館での熱中症の発生は少ないため、緊急度は高いと感じていない。

問 子どもたちが安全に活動できる環境整備に向け、優先度を上げて取り組む必要があるのでは。

答 今後の熱中症対策を講じる上で、重要な課題の一つである。

放課後児童クラブの
土曜日開設について

問 支援員が確保できず

実施が見送られているが、どのように人材確保に努めているか。

答 様々な媒体で常時募集をしているが、勤務時間の短さや通勤手段の関係等で、人材確保が進んでいない。

問 支援員は子どもや家庭を支援するため、保育士や社会福祉士、教員免許もしくは数年間の実務経験が必要な職業である一方、非正規雇用で待遇が低い。国が処遇改善に向けて事業を設けているが、本町での活用を問う。

答 それらの事業を活用した事例はない。人材確保が課題になっている職種は他にもあり、支援員

の報酬引上げについては、

全体の状況を勘案した上で、慎重に見極める必要がある。

問 支援員と保護者が能勢町で安心して仕事をし、子育てができる環境を整えるべきでは。

答 ささゆり学園開校以来8年、ずっと要望を受けており心苦しいが、課題の解消が難しいのは事実であり、ご理解いただきたい。



一般質問



難波 希美子

ゼロカーボントウン

問 ゼロカーボントウンの取組みを問う。

答 令和3・4年度に再エネゾーニングの実施をし今年度は※再エネ条例の制定をした。公共施設の屋根を活用した太陽光発電の導入を検討中である。また、広報にコラムも連載中である。

問 庁舎屋根に初期投資不要の第三者所有のパネルを増やしてはどうか問う。

答 包括リース等も含めて検討していく。

問 現在、庁舎のEV急速充電器は、24時間タイプと比べると22%しか使用できない。24時間対応に変えられないのか問う。

答 トラブル対応などの懸念がある。費用対効果や事例などを考慮して、

検討をしていく。

問 脱プラスチックの取組みはあるのか問う。

答 各自自治体と連帯しての取組みはある。

問 町内の森林のCO₂吸収量を把握しているか。

答 町全体で森林のCO₂吸収量は年間約7100トンCO₂である。

問 再エネ条例案のパブコメ(意見募集)でどんな意見があつたのかを問う。

答 多かったのは、設備や基準、自然環境、※協議会や周辺関係者への周知等の意見である。

問 協議会の役割を問う。

答 専門的な助言をいただく事になる。

問 協議会の委員に住民は入れないのか問う。

答 考えていない。



※再エネ条例

再生可能エネルギー発電事業と地域との共生に関する条例

※協議会

能勢町再生可能エネルギー発電事業検討協議会